

にぎわい

日本海にぎわい・交流海道推進協議会通信

会員だより



「特定地域振興重要港湾に指定」 北海道 岩内町

岩内港は北海道西海岸の中央に位置し、昭和28年に地方港湾に指定され昭和60年には地方港湾として全国で初めて保税上屋の指定を受けて、水産加工用原魚が直接陸揚げされるなど、現在では当地方唯一の商港として重要視されています。

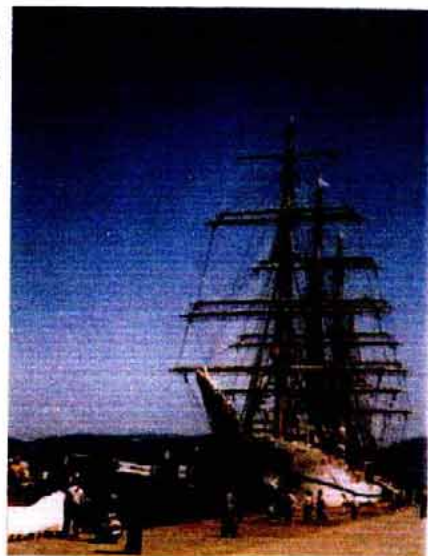
また、昭和59年から物流及び旅客交通の拠点として、本港東地区の整備に着手し、平成2年の供用開始にあわせて新潟県直江津港と本港を結ぶ13,500t級フェリー就航（現在運休中）が実現しました。

さらに、本年5月には地域の振興に重要な役割を果たすことが期待される港湾として、「特定地域振興重要港湾」の指定を受けました。

今後は、国からの積極的な支援を受けつつ港湾施設の整備拡充や背後圏との交通体系の整備を推進し、さらに、国際化の伸展に対応した関連施設の整備を進める予定です。また、近年注目を浴びている海洋深層水の利活用も含め、地場産業である水産関連産業の活性化を目指しています。

また、本年5月に町制施行100周年を記念した事業として、運輸省航海訓練所の練習帆船「日本丸」（池上二郎船長、2,570ト）が19日に入港し、24日の出港までの6日間に「セイルドリル」や「船内の一般公開」が行われ、出港の際に女性7人を含む実習生がマストに登っての「登樁（とうしょう）礼」で出港見送りにこたえてくれました。

停泊期間中は日没から午後10時までイルミネーション点灯の装飾が行われるなど、この期間中に町内外の見学者は1万4千人を越えました。



5月に入港した「日本丸」



モニュメント像「アテナ」

また、新港開港10周年を記念し、平成4年から整備を進めている新港地区の緑地に高さ6メートルのモニュメント像「アテナ」が立てられ、7月14日に除幕式が行われました。アテナは、ギリシャ神話で最も人気のある知恵の女神で、平和を愛し船を発明したとされ、海とともに発展してきた岩内の港に合ったコンセプトでもあります。

本港は、道内有数のリゾート基地であるニセコ山系を背後にもつ唯一の港湾であり、本州の日本海地域とのフェリー就航とも連動して海の玄関口として、地域活性化の上でも大きな期待が寄せられています。

会員だより



「増毛町町政100周年」 北海道 増毛町

増毛町は古くは元禄年間に増毛場所が拓かれて以来、鯨の干石場所として栄え、1900年（明治33年）7月に北海道一級町村制が施行され、今年でちょうど百年を迎えました。

記念すべき100周年を迎え、町民参加の記念事業を募集したところ、数多くのアイデアが寄せられました。その中から『記念式典』を始め、NHK公開番組『ふるさと皆様劇場』（6月30日）の収録、増毛の四季折々の写真を募集する『増毛の四季フォトコンテスト』、全国の知人・友人から町民に往復ハガキを出してもらい、増毛の特産品を全国に届ける『ふるさと増毛を全国に届けよう』。増毛がロケーションとなった映画（4本）を無料で上映する『シネマ・イン・MASHIKE』（9月17日）などが行われました。

また、既に実施された『子供議会』では子供議員から出された一般質問になごやかな内にも真剣に答える町長の姿が印象的で、増毛の将来が頼もしく思われました。

これらの記念事業の他に数多くの協賛事業があり、その中の一つに『海鳥の聖地を訪ねる雄冬海岸クルージング』があります。国道231号線が開通するまで雄冬は陸の孤島と言われ、定期航路「雄冬丸」が運行されていたため海上から雄冬海岸を見ることができました。しかし、定期航路が廃止されてからは見ることはできなくなりました。



海鳥の聖地を訪れる雄冬海岸クルージング

そこで、平成6年に供用開始された増毛港プレジャーボートスポットの会員で組織する、増毛ノールマリンクラブの協力を得て、今回協賛事業として、会員のボートを利用して、海鳥の聖地であり又すばらしい景観を誇る雄冬海岸と我が町を海上から見るクルージングが行われます。

今年は、増毛町の今後の観光のシンボルになるであろう「旧商家丸一本間家」が4月14日に北海道指定有形文化財に指定され、4月25日に念願のオープンがされ、一般公開されるなど、まさに記念する年であり、町民皆様からの応募により決定した100周年のテーマスローガンである【先人の努力と英知100年を21世紀へ翔け増毛】の実現が期待されます。



北海道指定有形文化財に指定された「旧商家丸一本間家」

紹介

～ 北海道の港湾キャラクター「ぽーとん & べいくりん」の誕生 ～

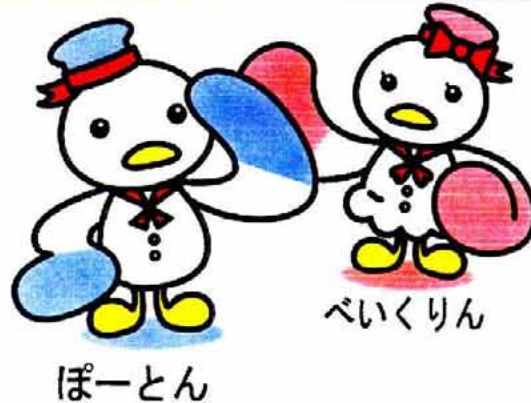
昨年、北海道の港湾関係各種団体が集まって「港湾利用促進キャンペーン」事務局が発足しました。本キャンペーンは港のことを身近に感じてもらい、港の大切さをより多くの人たちに理解してもらうことを目的としており、昨年9月、北海道の港湾のキャラクター「ぽーとん & べいくりん」（かもめです）及びキャッチフレーズ「より速く、より多く、より遠く 未来に広がる海の駅。」が、応募総数3,494通の中から選ばれ誕生しました。

本年はこのキャラクター及びキャッチフレーズを幅広く使用していただくために、使用マニュアル、PR用パンフレットを作成しているところです。

是非ご愛顧のほどよろしくお願い致します。

（北海道開発局 港湾計画課）

北海道のみなどのキャラクター



ぽーとん

べいくりん

キャッチフレーズ

「より速く、より多く、より遠く 未来に広がる海の駅。」

編集後記

梅雨も明け（北海道には梅雨はありませんが・・・）、いよいよ本格的な夏がやってきました。夏と言えば海、この季節、港まつりなどのイベントが各地で行われていることと思います。本年できあがりしました、「にぎわいカレンダー」を活用してお互いに積極的にイベントに参加することで、さまざまな形の「日本海にぎわい交流」が行われることを期待しています。

もちろん、「にぎわい通信」を通じても交流が活発化するような紙面づくりを心がけたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

編集・問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道推進協議会事務局

北海道開発局 港湾計画課 調査係内

TEL: 011-709-2311 (内線5617)

FAX: 011-709-2147

e-mail: ts-tiba@hda.go.jp